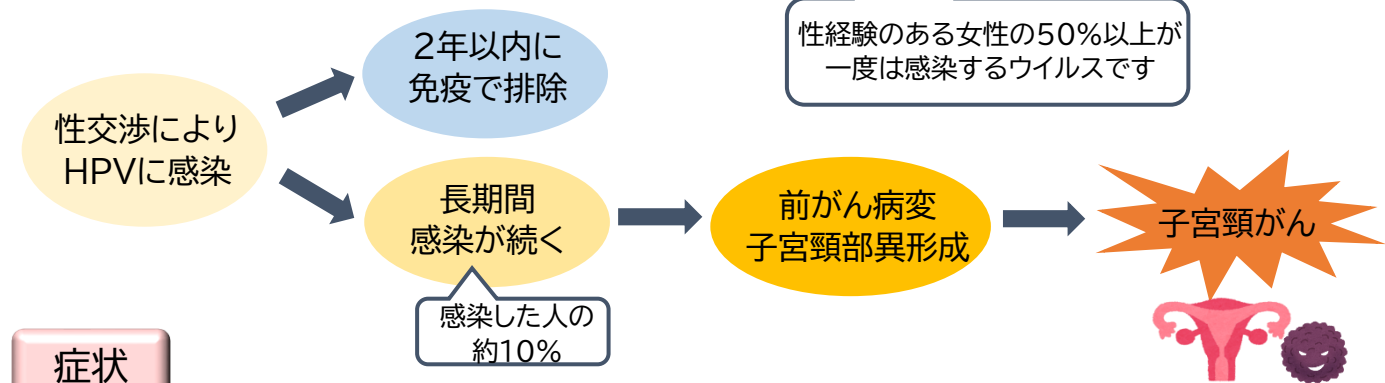


子宮頸がん検診を受けて、早期発見・予防を！

日本では、年間約10,000人が子宮頸がんにかかり、約3,000人が命を落としています。初期には症状がほとんどないため、早期発見のためには検診が重要です。今回は、新たな子宮頸がん検診として導入され始めているHPV検査単独法についてお伝えします。

子宮頸がんとは？

子宮頸部とよばれる子宮の入り口にできるがんです。**ヒトパピローマウイルス(HPV)**に持続的に感染することによって、発症すると言われています。



症状

初期には、ほとんど**自覚症状がありません**。がんが進行すると、おりものの異常、月経以外や性交時の出血、下腹部の痛みなどが現れてきます。

検診を受けましょう！



2024年4月～**厚生労働省の要件を満たす一部の自治体**に限り、HPV検査単独法が住民健診で実施できるようになりました。

※市町村によってはこの限りではありませんので、詳細は各市町村にお問い合わせください。

	細胞診検査	NEW HPV検査単独法
対象年齢	20歳以上	30歳以上
受診間隔	1回/2年	検査結果により変わる ① HPV検査陰性 ⇒1回/5年 ② HPV検査 陽性 ⇒1年後にHPV検査 細胞診 異常なし ③ HPV検査 陽性 ⇒直ちに医療機関を受診 細胞診 異常あり

ワクチン接種をしましょう！



初めての性交渉をする前のワクチン接種が望ましく、公費(無料)で受けられる定期接種の対象は、**小学6年生～高校1年生相当の女子**です。2価、4価ワクチンでは子宮頸がんの50～70%、9価ワクチンでは80～90%を予防できるとされています。

参考: 国立研究開発法人国立がん研究センターHP がん情報サービス「子宮頸がんについて」「子宮頸がんの予防・ワクチン」
厚生労働省HP 「子宮頸がん検診へのHPV検査単独法導入について」
「ヒトパピローマウイルス感染症～子宮頸がん(子宮けいがん)とHPVワクチン」

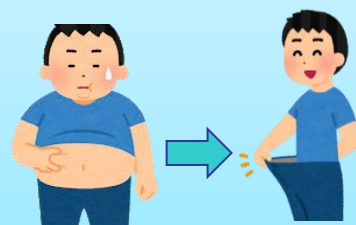
健康診断だけが私たちの仕事ではありません！！ 従業員の元気アップのお手伝いを承ります！！

特定保健指導

うちの会社は、他社に比べて高いメタボ率。

日中はお客さん対応で、定時に昼食が摂れないことも多い。
繁忙期は残業続きで、不規則な食生活。そう言えば、他社の方が、保健指導を実施してみたら、従業員の健康意識が想像以上に高まったと話していた！保健師や管理栄養士さんも、忙しい生活の中でもできるコツを教えてください。保健指導料は、健康保険組合が負担する割合が高いし、今年うちの会社でもやってみたいな。

※料金については、健康保険組合にお問合せください。
自己負担が発生する場合があります。



健診後フィードバック

健康診断の後、健診担当者としては、

健診で所見があった人たちには、確実に病院へ受診して欲しい。

しかし、私が伝えてもなかなか受診にはつながらない。
こんな時、保健師さんなどの専門スタッフが後押ししてくれと助かる。従業員は財産！
その従業員が健康でいてくれることが何より。

※料金については、お問合せください。1人500円前後（税抜）



健康教室

健康に関する講話を聞くことは必要なことだけど、一方的に講話を聞くだけでは物足りない。何か一つでも、自分のこととして取り入れることができたり、他の参加者の意見や思いを知る機会となったら興味深い！参加者と交流を持ちながら、眠くならない、楽しいひと時を過ごしましょう。

※料金やテーマについては、お問合せください。1回10,000円前後（税抜）

体力測定等

1年に1度の健康診断も大切だけど、併せて、自分の体力がどの程度なのかを知ることが出来たら、とても良い機会になると感じる。握力や腹筋持久力、下肢筋力についても、自分の体力がどの程度か知りたい。

※項目や料金については、お問合せください。

あなたとあなたの大切な人のために、年に1度、健康診断を受けましょう！

問合せ先：公益財団法人 宇都宮市医療保健事業団健診センター
TEL 028-625-2213（内線3） FAX 028-625-2215